

みき通信

2011年4月10日

頑張れ くぼたみきの会 第5号・活動報告

発行連絡先 875-7126

他人事ではない! 原発事故

福島第一原発事故は、おさまることを知らず、周辺の農漁業に深刻な影響をおよぼしています。危険な放射性物質放出に不安がめぐえませんが、ここ葉山でも他人事ではありません。なぜなら、横須賀には原発と同じような動力源を持つ軍艦がたびたび入港しているからです。3月21日には定期修理中の原子力空母ジョージワシントンが横須賀基地を出港し、4月5日長崎の佐世保港に寄港しました。今回の事故の影響で、周辺から放射性物質が検出されると、船からの放射能漏れと誤解されるのを避けるための出港だったとか。被災地でトモダチ作戦など米軍の救援活動に参加していたのは原子力空母ロナルドレーガンでした。

今度の事故は今の技術では、人間が制御できない原子力の利用が、どんな対策を構しても安全でないことを教えています

3人めの子の高校の制服が、東北の工場で作られていたため、できあがるのが遅れやっと入学式に間に合ったというみきさん。災害の影響が、様々なところに現れています。

自粛ムードが続いていますが、政策を訴えて競うのが選挙です。みきさんには堂々と胸を張って自分の主張を訴えてほしい。期待しています。



震災後の連日の救援募金。協力ありがとうございます。
(3月20日相鉄ローゼン前)

赤ちゃんからお年寄りまで みんなが安心して暮らせる葉山にしたい!

日本共産党が昨年行った町民アンケートに248通の回答が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

町政に望むこと ベスト5

- ① 高齢者福祉や介護制度の充実
- ② 国保料の負担軽減
- ③ ごみのリサイクル対策
- ④ 行財政改革の推進
- ⑤ 防犯対策 子育て支援の充実

どんなことも
あきらめないう
て
一歩づつ
がんばりま
す
くぼた みき

記入らんには、道路補修や信号機の設置など図入りで書かれ、切実な願いが伝わってきました。

いまだに解決されない、保育園の待機児の問題、介護保険料や医療費負担軽減の要望、特別養護老人ホーム増設の声も寄せられました。また、行政や議会への大変きびしい声には、住民のために働いてほしいとの期待を感じました。

住民の立場で皆さんと一緒に、住んで良かったというまちづくりをしなければと、思いを新たにしています。

桜の花びらが散り始めているのに、被災地では、いまだに安否の確認が取れない方、避難所で暮らされている方々。そして福島原発の事故は、いつ『終結』が迎えられるのでしょうか。『安心安全』とは、はるか遠い話になっています。

そして葉山でも、皆さんから「資材が足りない」、「汚染水を海に流すのは心配」とお聞きしています。

お隣の横須賀の米軍基地に原子炉を2基積んでいる原子力空母が寄港しています。放射能もれ事故は、これまでも原子力艦船で多発しています。その原子炉は『軍事機密』で性能は公表されていず、そんな中事故があったら、米軍はきちんと情報を伝えてくれるのでしょうか？

原発の重大事故！今だからこそ、原子力空母の日本母港化、寄港をさらに声を大きく反対しなくてはと感じています。

憲法9条を遵守すること、平和への思い、いつそう強くしています。

- みきさんのことを、まわりの方へ広げてください。
- 差し入れ、資金援助大歓迎です。
- 気軽に、事務所にお出かけください。

お願い
頑張れ
くぼたみきの会